

## 《研究課題名》

急性 A 型大動脈解離 上行置換術後エネルギー代謝の検討

## 《研究対象者》

2022 年 1 月より 2023 年 3 月までに滋賀医科大学附属病院心臓血管外科において A 型急性大動脈解離と診断された方

## 研究協力をお願い

滋賀医科大学において上記研究課題名の研究を行います。この研究は、対象となる方の診療情報を用いて行う研究であり、研究目的や研究方法は以下の通りです。情報の使用について、直接ご説明して同意はいただきず、このお知らせをもって説明に代えさせていただきます。対象となる方におかれましては、研究の主旨・方法をご理解いただきますようお願い申し上げます。

なお、本研究への情報の提供を希望されない場合、あるいは、本研究に関するご質問は下記(8)の問い合わせ先へご連絡ください。

### (1) 研究の概要について

#### 《研究課題名》

急性 A 型大動脈解離 上行置換術後エネルギー代謝の検討

《研究期間》 滋賀医科大学学長許可日～2025 年 3 月 31 日

《研究責任者》 滋賀医科大学 栄養治療部 栗原美香

### (2) 研究の意義、目的について

#### 《意義》

急性 A 型大動脈解離は、病院到着前死亡は 6 割以上と致死率が高い疾患である。突然に発症するため、病前のエビデンスが少ないとされている。保存的加療の死亡率は 55.9%、手術をしても 11.3%であるため、手術が第一選択となっている。

手術は、日本における平均時間は 6 時間以上で体外循環時間も 3 時間以上と極めて長時間におよぶ高侵襲手術とされているが、大動脈解離の術後におけるエネルギー代謝に関する検討は少ない。

#### 《目的》

現在、適切な栄養管理を実施するために、実際のエネルギー消費量を測定し、栄養投与を行っている。大動脈解離の術後侵襲に関する代謝亢進の検討を行う。

### (3) 研究の方法について

#### 《研究の内容》

現在、ICU では指摘投与量算出のため、間接熱量測定(ミナト医科学 AE300S)を行っており、そのデータを用います。代謝亢進を評価するため、Harris-Benedict 式を用いて求めた数値を測定値で除して求めた結果をストレス係数(stress factor :SF)とする。

#### 《利用する情報の項目》

身体所見、検査データ、診療記録

### 《情報の管理について責任を有する者》

国立大学法人 滋賀医科大学 学長 上本 伸二

#### (4) 個人情報等の取扱いについて

本研究を実施する際には、あなたの情報から、あなたを特定できる情報（氏名、生年月日、住所等）を除き、代わりに本研究用の ID を付けることで、その情報が誰のものであるか分からない状態にします。ただし、必要な場合に特定の個人を識別できるように、あなたと ID を結び付けることができるような加工をした情報を残します。尚、加工された情報は、施錠できる場所で担当者によって厳重に管理されます。

#### (5) 研究成果の公表について

本研究の成果は学会発表、学術雑誌およびデータベースなどで公表します。公表の際には個人が特定されることがないように、十分配慮いたします。

#### (6) 研究計画書等の入手又は閲覧

本研究の対象となる方又はその代理人の方は、希望される場合には、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で本研究に関する研究計画書等の資料を入手・閲覧することができます。ご希望の場合には、下記(8)の問い合わせ先へご連絡ください。

#### (7) 利用又は提供の停止

本研究の対象となる方又はその代理人の求めに応じて、対象者の方の情報を本研究に利用（又は他の研究に提供）することについて停止することができます。停止を求められる場合には、下記(8)にご連絡ください。

#### (8) 本研究に関する問い合わせ先

担当者：滋賀医科大学 栄養治療部 栗原美香

住所：520-2192 滋賀県大津市瀬田月輪町

電話番号：077-548-2519

メールアドレス：[kuri@belle.shiga-med.ac.jp](mailto:kuri@belle.shiga-med.ac.jp)